

# がっこうだより



令和2年6月30日(火)  
紀美野町立下神野小学校  
☎ 073-495-2019

## 新たな学びの姿に向かって

学校が再開して1ヶ月がたとうとしています。少しずつ学習時間も延ばしていき、ようやく通常の時間割での学習が出来るようになってきました。夏季休業日数で調整したこともあり、この調子でいけば1年間で学ぶ内容を3月までに終えることが出来そうです。

しかし、新型コロナウイルス感染症の第2波や第3波があることも想定した学習をしていかなければなりません。その手立てとして、学級担任の先生方はいろいろな工夫をしてくれています。

6年生は、音楽の家庭学習として、自分自身のリコーダー演奏シーンを録画するという課題が出ました。「ラバース・コンチェルト」という曲の演奏を各自が自撮りしました。飛沫拡散リスクのため、音楽の時間に一斉にリコーダーを吹くことはできませんが、各自が家庭で吹くことなら出来ます。そして、※ロイロノートで提出された演奏を聞いて、教師が評価をすることもできます。

5年生は、国語科の説明文の学習で各自が「段落構成を図に表す」という課題に取り組みました。今までなら、ノートに書いて提出したり、黒板に書いて発表したりするのですが、今回はあえて「ロイロノート」で提出としていました。こうすればテレビ画面で提出された全員の図を見ることも出来ます。

4年生は、国語科の物語文で各自の意見をノートではなく、ロイロノートに打ち込んで提出し、全員の意見をタブレットの画面に並べて比べるということもしました。また、総合学習では、和歌山の偉人をタブレットを使ってネットで調べるという使い方もしています。

3年生は、社会科で紀美野町のことを学習します。紙の地図だけでなく、iPadで地図を表示させて、拡大したり縮小したりしながら学校の周りの様子を学んでいます。グーグルマップで衛星写真のように表示すると山の緑が多く写され、山がちな地形であることがよく分かります。また、国土地理院のマップを使うと、いろいろな施設が正式な地図記号で表示されるので、地図記号の学習も合わせて出来ます。

これらのように、普段の授業からiPadやそのアプリを活用していくことで、万一再度臨時休業になったとしても、授業ごとに担任が課題を出して、自宅で一人一人が調べたりまとめたりして、課題を提出することが出来ます。また、zoomなどオンラインで集まれば、提出した課題や作品をもとに、学級で意見を交流することも可能です。再度臨時休業になっても、4年生以上では、オンライン授業ができる体制が出来つつあります。また、低学年についても、機器が導入されたら、積極的に活用して子どもたちのスキルを高めていく予定です。

ICT機器の活用は、臨時休業に備えるためというだけでなく、「自分のペースで調べたり考えたりまとめたり繰り返し練習をする」、そして、対面でもオンラインでもみんなで集まって「意見を交流したり深め合ったりする」という、教室という場所に縛られない、新しい学びの姿に向かって普段の学習も少しずつ進化しているのだと思っています。

学校長 北川 勝則

※ 「ロイロノート」は、株式会社LoiLoのアプリで正式名称はロイロノート・スクール。双方向型の授業を実現する授業支援クラウドです。直感的に操作でき、対象学年や教科、学習場面を問わずに使えます。資料のやりとりや意見共有が簡単にできることから、今回の臨時休校対策にロイロノート・スクールを活用する学校が増えているそうです。

## 子育てのヒントとなる読書案内

『13歳からのアート思考』末永幸歩：著 ダイアモンド社

東京学芸大学附属国際中等教育学校教員

数学には、「太陽」のように明確で唯一の答えが存在しています。(中略) 数学はこうした「正解(=太陽)」を見つける能力を養います。(中略) 教科としての「美術」の本来の目的は、このように「自分なりの答え(=雲)」をつくる能力を育むことなのです。これまでの世界で圧倒的に支持されてきたのは、前者の能力でした。「数学」は多くの場合、入試科目に入りますが、ごく一部の学科を除けば、受験生に「美術」を課すような学校はありません。しかし、「どうやらこれだけではまずいことになるぞ…」ということに世の中が気づきはじめています。この背景になっているのが、いわゆる「VUCAワールド」と形容される現代社会の潮流でしょう。VUCAとは「Volatility = 変動」「Uncertainty = 不確実」「Complexity = 複雑」「Ambiguity = 曖昧」の4つの語の頭文字を取った造語で、あらゆる変化の幅も速さも方向もバラバラで、世界の見通しがきかなくなったということを意味しています。「『敷かれたレールに従って行けば成功できる』という常識が通用しない世界になった」という警句は、以前からずいぶんといろいろなところで聞かれるようになりました。だからこそ、ここ10年くらいは「時代の変化にいち早く対応しながら『新しい正解』をみつつけよう」というのが、おきまりごとのように語られてきたのです。しかし、現代のようなVUCAの時代にあっては、もはやこのやり方すら役に立ちません。どんなに変化にすばやく食らいつかうと思っても、もはや追いつけないほど世の中の変動が激しくなってしまうからです。たった一つのテクノロジーが、全世界の枠組みをまるごと変えてしまうようなことも、もはや珍しくありません。世界が変化するたびに、その都度「新たな正解」を見つけていくのは、もはや不可能ですし、無意味でもあるのです。(中略) そんな時代を生きることになる私たちは、「『太陽』を見つける能力」だけでは、もう生きていけません。むしろ、人生のさまざまな局面で「自分なりの『雲』をつくる力」が問われてくるはずで、これを身につけるうえで、「美術」という教科はどうってつけのものはありません。

## 子どもにすすめたい本 親子で読みたい本

『よあけ』ユリー・シュルヴィッツ：作・画 瀬田貞二：訳 福音館書店



古いデータですが信州大学が2005年に調査した結果では、日の出や日の入りを見たことがない子供が43%もいたそうです。朝日や夕日を一瞬見ることは多いでしょうが、じっくりと眺める機会は少ないですね。この絵本は、中唐の詩人柳宗元の「漁翁」という詩をモチーフにしているようで、1ページの文字数が非常に少なく、夜が明けていく様子を絵で見事に表現しています。この絵本を読んで、次の日には親子で早起きをし、紀美野町の夜明けと見比べてみてはどうでしょうか？

## 7月行事予定

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1日(水) 第2回 セーフティガード          | 15日(水) 集団登校日 クラブ活動       |
| 交通安全街頭指導                    | 16日(木) 耳鼻科健診(2・4・6年と対象者) |
| 児童会委員会活動                    | 17日(金) 授業参観・学級懇談会        |
| 2日(木) 歯科健診(全学年)             | 22日(水) 集金日(給食費)          |
| 7日(火) スクールカウンセラー来校日 SSW 来校日 | 23日(木) 海の日               |
| 8日(水) 第1回 漢字の博士試験           | 24日(金) スポーツの日            |
| 10日(金) 育友会評議員会 19:30～       | 29日(水) 委員会活動             |

## 8月行事予定

8月4日(火) 5日(水)の午後に個別懇談を予定しています。

